

よっ葉だより

2023年
3月27日号
No.737

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



第41回 通常総代会を開催します ～総代になって総代会に参加しませんか?～

「総代会」とは?

総代会は生協の方針を決めるもっとも重要な機関です。年1回定例で開催するものを「通常総代会」といいます。通常総代会で決めることは、今後の事業計画や予算の決定、役員(理事・監事)の選出、経営上の方針などです。「総代会が生協の中の最高議決機関」と言われるのは、総代会で決めた方針に沿って、すべての事業や活動が行われるためです。当日は、1年間の事業報告も行います。



第40回 通常総代会のようす

「総代」とは「組合員の代表」のこと

生協は、組合員が1人1票の議決権を持って運営されています。一定の地域ごとに組合員の代表として選出された総代は、通常総代会へ出席し、方針や活動を決定するための議案に対して、賛否を示すことができます。任期は1年、年1回6月の通常総代会にご参加いただけます。特別な知識や経験は必要ありません。組合員の意志を生協運営に反映していくため、是非総代になり、総代会で意見や感想をお届けください! 定数は100名～120名です。多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしています。

「総代会」へ参加するには?

今週配布されております「第41回通常総代会総代立候補の公示」をご覧ください、総代申込書(総代立候補届)を配送時に担当者へご提出ください。申込書はホームページからもダウンロードできます。

受付期間は2023年4月3日(月)～5月19日(金)です。

★当日は託児もございますので、小さなお子様連れの組合員様もぜひご参加ください。

★当日ご出席できない方でも、書面決議による参加が可能です。

★組合員ご本人のみが立候補可能です。

第41回 通常総代会

日時: 2023年6月10日(土曜日) 10時00分～12時00分

会場: 小山市立文化センター(小ホール)

栃木県小山市中央町1-1-1

< 理事会 >

育てた人から直接届きます!

良質なたんぱく源として朝ごはん、お弁当、晩御飯の主菜、お菓子作りにも大活躍。空気のように毎日の食卓に欠かせない卵。市場では品薄が続いています。輸入飼料や燃料の高騰が続く中のさらなる追い打ち。鳥インフルエンザに感染し殺処分された鶏などの数は、昨年10月以降1500万羽を越えたそうです。卵市場の卸値も値上がりを続け、鶏卵の卸売価格（東京地区、Mサイズ基準値）2月の月平均は1キロ当たり327円でした。（JA全農たまごHPより）。

史上最高値ですが、それでも1個あたり20円ほどです。通常は10～15円ほど。まさに価格の優等生ですが、「生き物」の命を頂く卵がそんなに安かったのはなぜでしょう？ 卵の為の鶏＝採卵鶏は、生後約5カ月で卵を産み始め、ほぼ毎日（年間300個）生み、通常1年から1年半で廃鶏（加工用食肉）になるそうです。卵1個15円だとして、15円×300個×1.5年＝6750円。市販の卵を産む鶏1羽の一生分の卵の売り上げです。薄利多売、出来る限り経費を抑えた大量生産があたり前なものなうなずけます。

一方で、小売り価格が1個100円前後や、時には200円を超える「ブランド卵」「高級たまご」が話題となっています。エサにこだわっていたり、時々平飼いや地鶏の有精卵なども見受けられますが、...

生産量や売れ行きによって常に変動する相場で決まる市販の卵と違い、よつ葉生協の卵の値段は固定価格です。生産者は、栃木



無選別さくらたまご

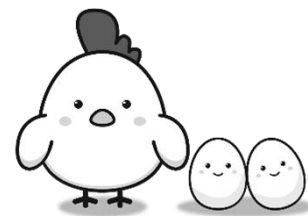


やさと産直たまご

県栃木市のわたなべ養鶏所の渡辺さん親子と、茨城県石岡市のJAやさとの5名の生産者さん。遺伝子組み換えの混入が無いように管理され、またポストハーベスト（収穫後）農薬の心配のない、こだわりのエサを与え、通常のケージ飼いや光と風が入る解放鶏舎で健康に育てています。また、自由に歩き回れる平飼いも行っています。「高級たまご」の品質で、1個20円ほどから50円ほど!! 毎日感謝していただきたいですね。

「くらら」2月4週の裏表紙に掲載された記事にもありましたが、飼料価格が高騰する中、栃木県が昨年始めた子実トウモロコシの地産地消への取り組みに、渡辺さんも参画されています。6月下旬に種をまき、11月に収穫された計15トンの子実トウモロコシは、「おらが納豆」の製造元である勅使河原精麦所（佐野市）が飼料用に加工します。

JAやさとでも、地元で栽培された飼料玄米や大豆を与えています。自給率UPへ、エサから地産地消の挑戦を応援しましょう!!



(理事 堀)

よつ葉の卵、自慢のこだわりポイント!

- ・ 輸入飼料は全て、非遺伝子組み換え分別生産流通管理済み、PHF（ポストハーベストフリー）。
- ・ 自家配合飼料
 - * やさとで生産された飼料玄米、地元副産物である米ぬかや大豆を利用した発酵飼料、魚粉など。<やさと>
 - * 自家製発酵飼料（小麦、ビール麦、玄米、米糠）、魚粉、牡蠣殻、海藻、パプリカ、PHFトウモロコシ、牧草。（トウモロコシと牧草以外の原料はすべて国産。トウモロコシの栽培に着手し、国産への切り替えを進行中。）<わたなべ養鶏所>
- ・ ケージ飼いで、自然の日差しと風通しの良い開放型鶏舎で飼育しています。（ウインドレス鶏舎が一般的です。）
- ・ 消費期限ではなく、採卵日がわかります。つまり、とても新鮮です!!



商品評価委員会発
塩屋を訪問しました
(茨城県ひたちなか市)



潟沼でのしじみ漁の様子



2月3日金曜日、商品評価委員会で商品部の職員と一緒に酒沼(ひぬま)しじみの漁師である萬屋商店と、冷凍しじみをよつ葉生協に供給している塩屋へ訪問しました。水産物ですので漁港のようなものを想像していたのですが、住宅地そばの川沿いに漁場と加工場がありとても驚きました。

お話を伺ったのは萬屋商店の荻沼さん。荻沼さんは漁師でありしじみ問屋と加工もされています。しじみの漁獲シーズンは夏ということもあり、漁に出ている船は2艘でした。酒沼では持続可能な漁を行うために漁協が厳しく数量を管理しているとのこと、量は少ない(冬は寒いので川底深く潜ってしまうため)ですが冬にも漁ができるぐらいしじみがいるそうです。

漁に機械を使わないことも持続性を保つために漁師さんたちが行っていることです。冷凍しじみを加工している荻沼さんの加工場も見学させていただきました。冬は冷凍の加工はしていないとのことでしたが加工場の中はとても清潔に整えられていて、選別や砂抜きなどに使う道具も整頓されていました。

お話を伺うなかで、良いものを作るためにしじみは漁師さんから加工場に届くまでの状態も厳しくチェックされ、緊張感のある取引をされていることがわかりました。加工業者としてのこだわりを感じ、消費者として安心して購入できるなと感じました。

しじみが加工されていく一連の流れで、砂抜きのお話を伺いました。しじみにストレスを与えないための工夫を伺い、元気なしじみを凍結するので、味が損なわれず身がしっかりしてるのだなど感心しました。荻沼さんは、砂抜きについても研究されていて、

しじみの旨味を引き出す方法について、その試行錯誤のお話が楽しく、しじみの性質をしっかりと知って向かい合っている姿にこだわりを感じました。

最後に職員にアピールポイントを聞かれて「当たり前のことしかやっていないんだけど・・・すべてにおいてこだわりを届けたいです。」と答えられ、手間がかかって当たり前と笑顔で話す荻沼さんが消費者にとっても信頼できる人なのだと感じました。酒沼のしじみを食べる時には、きっと荻沼さんの笑顔を思い出す、そんな業者訪問になりました。

塩屋でも、萬屋商店から仕入れた商品を加工(袋詰め)する加工場の見学をすることができました。一目でわかる異物チェック表、マニュアルなどが働く人に分かるように掲示されていました。

しじみの選別は職人技に近いものがあり、ベテランの方はすぐただけで悪いもの(空の貝、泥の詰まった貝)が混じっていると分かるそうです。人間の五感を使った選別と機械での選別も行なっています。塩屋さんの従業員の技術の話に感心しました。塩屋の代表石原さんは「貝でみんなを楽しくしたい。」といろいろな活動の事を話してくださいました。震災後、海を良くするために山を良くしていく活動にも参加されているとお聞きし、産地回復を応援するのも大切な事だと思いました。

今回は冬の業者訪問で、しじみ漁の最盛期ではありませんでしたが、そのおかげでじっくりとお話を伺うことが出来ました。本当にお世話になりました！酒沼のしじみを食べて応援したいです。
<商品評価委員会 小田切>

ふみさんの

日々のカンタン!! おやつ作り

プルーンとくるみのお菓子

貧血対策にもお
栄養たっぷり!
滋養おやつ

オーガニックフードマイスター、調理師 発酵食品を使ったおやつ“日々のお菓子”製造、助産院でのごはん作り等でも活動中!
理事 薄井史子
よつ葉サークル「なす子育ての会」代表>

<材料>

- プルーン(種ぬき) 8~10粒
- きなこ 40g
- くるみ 40g < 冷凍品で、から火炙りにしておく >
- しあひつま汁

黒豆きなこ オススメ!

たばすき注意!

プルーンのこと

プラムを乾燥させたプルーンは血を補う作用、むくみや下痢、乾きの改善に効果が期待でき、抗酸化作用、骨の強化、整腸作用も。
(お腹がゆるくなる場合もあるの、食べすぎには注意!)
今回のおやつなら、1日1~2カットがおススメです

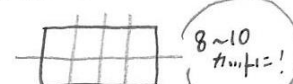
きなこのこと (大豆のこと)

大豆(黄大豆) タンパク質、鉄、カルシウム、ビタミンのイセ抗酸化作用や食物繊維がたっぷり。血を補ったり、胃腸を元気にします。

黒豆(黒大豆) アンチエイジング作用を筆頭に、血を補ったり体の水分バランスを整えたりと、こちらも栄養豊富なオススメ食材です。

<作り方>

1. プルーンは水 1/2 カップを小鍋に入れて火にかけて水気がほとんどなくなったら火からおろしてつぶす
2. 1にそれぞれの材料を全てを入れてよく混ぜる
ラップを敷いた上に乗せ、高さ2cm程の長方形にラップで成形する
3. 常温で1日かん以上置き、かたまったならひと口大に包丁でカットする



第10回 定例理事会報告 3月8日（水）

《報告・協議事項》

(1) みなし自由脱退処理の実施の件

よつ葉生協定款第9号（届出の義務）、10条（自由脱退）にもとづき、2023年1月末に確定した住所不明組合員120名のみみなし自由脱退処理について審議され承認されました。

※2年間の預かり期間を設け、出資金596千円は別管理とします。尚、後日の申し出により住所確認ができた場合は、返金させていただきます。

(2) 「くらら」商品取り扱い選定基準書2023年改訂の件

2023年4月改訂「くらら」商品取り扱い選定基準書の内容について審議され承認されました。

(3) 第41回通常総代会立候補の公示の件

第41回通常総代会総代立候補の公示について審議され承認されました。

※【総代とは】

総代会に出席して自分の考えで、議決に加わっていただく組合員さんを総代とよびます。

日時：2023年6月10日（土）

10時～11時30分（受付9時30分～）

場所：栃木県小山市立文化センター 小ホール

(4) 2月度 組合員活動会議報告

① 委員会行事の受付業務について

② 2023年度に向けて ①委員会担当者の決定 ②活動テーマについては3月の組活で決定予定

③ 委員長会議について 3月22日（水）オンラインを併用して行ないます。

④ よつ葉の広場～話・輪・WA オンライン（3月2日（木））商品部担当職員のだしつゆのお話。

⑤ ふれあいまつりについてはblankがありますが少しずつ準備を始めます。11月25日（土）を予定しています。



参加してみませんか

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～ やさと農業体験①

JA やさと有機栽培部会生産者との交流です。広々とした里山でかぼちゃととうもろこしの定植を行います。

日時：4月22日（土）10：00～12：00（受付9：30～）

会場：朝日里山学校（茨城県石岡市柴内630番地）

参加費：無料 託児：なし

締切日：4月7日（金）

主催：よつ葉生協

問合せ・申込：よつ葉生協 本部

TEL 0120-07-1613

（理事 堀・横山）

*お申し込みされた方へのご案内は、

4月10日以降に発送します。

*下記の共通申込書でお申し込みください。



共通申込書

希望する行事名に してください

やさと農業体験①

組合員番号	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号☎	
参加人数	（大人）組合員 人 ※同居の家族は組合員に含みます
	（大人）組合員以外 人
	（小・中学生） 人 歳 歳 歳
	（未就学児） 人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有（ ）

備考欄

●2月度事業実績

組合員数	26,892名（2月20日現在 前年比101.6%）
	加入106名 脱会96名
供給高	365,700円（前年比96.7%）
	2022年4月～累計4,092,828千円（前年比99.8%）

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告（3月3週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ち広がっています（単位：円）

栃木コロナ支えあい基金（860番）	2,600
群馬コロナウイルス対策募金（861番）	2,800
茨城誰かのために募金（862番）	2,000
合計	7,400

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告（3月3週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています（単位：円）

放射能から子どもを守る募金（900番）	6,200
震災孤児を支援する募金（910番）	25,800
「有機農業と国産種子」募金（920番）	7,500
合計	39,500

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram